

保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうこととお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KABS-017	製品名	3Dウェアラブルスピーカー SP-16
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：半年間
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
※販売店	住所・店名		店 舗 印
	電話番号		

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入（もしくは押印）してください。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
 - 弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
 - お客様の過失・不注意（使用上の誤り、製品をぶつけたり落下等による強い衝撃を与えるなど）による故障及び損傷
 - 取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合。
 - 火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
 - 本書の掲示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 他人へ譲渡した場合
- レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効となります。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

お客様サービスセンター

発売元 ライソン株式会社

〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

TEL 06-6789-1199

〔月～金（祝日除く）10時～16時〕



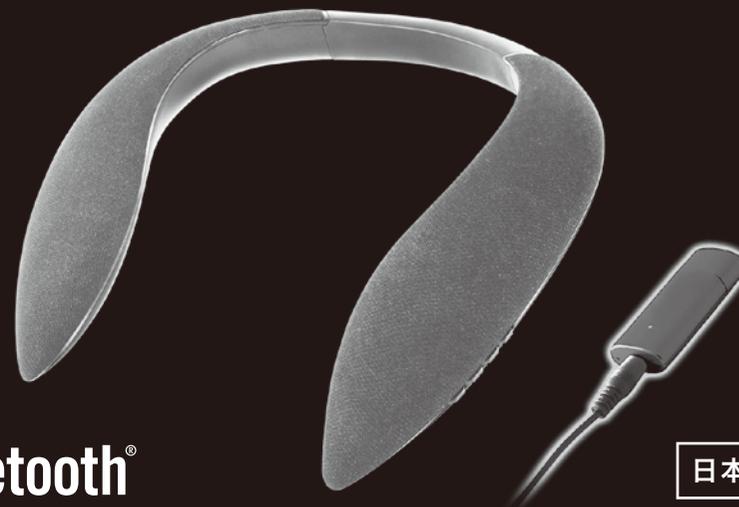
Audin sound®

3Dウェアラブルスピーカー
SP-16

取扱説明書

もくじ

- 様々な楽しみ方 …………… P.2
- 安全にお使いいただくために… P.3
- セット内容・各部名称 …………… P.4
- 充電方法 …………… P.5
- 使用方法①
スピーカーの使用方法 …… P.6～7
- 使用方法②
Bluetooth 送信機を使用する方法 …P.8
- 使用方法③ 音量・通話について … P.9
- 故障かな？と思ったら …………… P.10
- テクニカルデータ …………… P.11
- 保証書 …………… P.12



Bluetooth®

日本国内専用

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, INC. が所有する登録商標であり、ライソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

検索デバイス名

A-S SP-16

※本機はBluetooth® 対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。機器によっては使用できない場合もございます。ご了承ください。

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

様々な楽しみ方



肩にかけるスピーカーが、耳元をサウンドで包みこむ

ワイヤレスのスピーカーを肩にかけるだけで、これまでにない音の立体感を実現。
上向きのスピーカーは、周囲への音漏れを最低限に抑え、ヘッドホンとは違い、周囲を把握しながら音楽を楽しめます。

快適な装着感

背中側の首もと・肩・鎖骨のラインに沿ったアーチ状の形になっており、背中側の首もとに接する部分は柔軟に曲がって、長時間でも疲れることなく、心地良い装着感を保ちます。

Bluetooth送信機 付属

Bluetooth機能のないテレビ等にも、付属のBluetooth送信機を取り付けて、スピーカーに音を飛ばすことができます。

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずお読みください。

この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

警告 下記事項を守らなかった場合、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

- 煙が出たり、異臭、異音がしたら、すぐに使用を中止し、電源を切ってください。
- 分解や改造をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。
- 水のかかる場所や、ぬれた手で充電しないでください。感電や故障の原因になります。
- 落雷のおそれがある時は、USB充電ケーブルをパソコンなどから抜いてください。
- 心臓ペースメーカーや医療機器などの近くでは、医師に相談の上で使用してください。

注意 下記事項を守らなかった場合、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。

- 本機を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 使用温度範囲を超える場所や多湿・直射日光のあたる場所での使用・保管はしないでください。製品の劣化・故障の原因になります。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 医療機器や人命に直接的または間接的にかかわるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 飛行機の中では使用しないでください。通信システムを妨害する恐れがあります。
- 使用しない時は本製品の電源をお切りください。
- 本機は防水加工は施されておりません。水気のある場所での使用・保管はしないでください。
- 内蔵バッテリーは繰り返しの充放電により消耗します。交換はできません。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁気の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書の指示に従ってください。本製品は、スマートフォンなどと無線通信による使用が可能ですが、接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項に従ってください。
- 充電中は本製品の周囲に物を置かないでください。
- 布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。熱によって変形し、火災の原因になることがあります。
- 子供や乳幼児の手の届く場所での保管・使用はお避けください。

Bluetoothについて

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けているので、無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
◎本機を分解・改造すること ◎本機に貼ってある(プリントされている)証明ラベル(マーク)をはがす(削り取る)こと
- 本機は2.4GHz帯域の電波を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用してください。

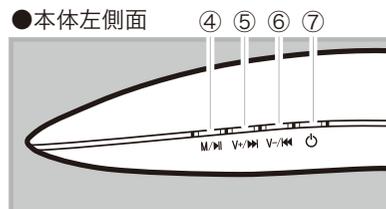
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

- ①本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
- ②万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。

- 本機の通信距離は最大約10mですが、磁場や静電気・電波障害が発生する場所や、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せずに接続が途切れたりすることがあります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作しない時があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する時があります。
- 日本国外では使用できません。各国の電波法に抵触する可能性があります。

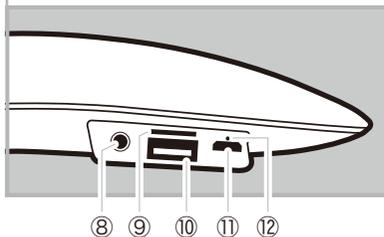
セット内容・各部名称

スピーカー本体

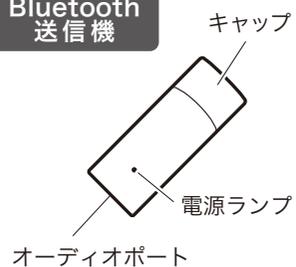


- 本体左側面
- ④ [M/M] ボタン
・再生/一時停止
・(長押し)モード切り替え
・通話/終話
・(2回押し)発信
- ⑤ [V+/▶▶] ボタン
・曲送り
・(長押し)音量アップ
- ⑥ [V-/◀◀] ボタン
・頭出し/曲戻し
・(長押し)音量ダウン
- ⑦ [⏻] ボタン
・(長押し)電源ON/OFF
・Bluetoothモード【3D】切り替え
- ⑧ オーディオポート
- ⑨ TF (microSD) カードポート
- ⑩ USBメモリーポート
- ⑪ 充電 (microUSB) ポート
- ⑫ 電源/充電ランプ

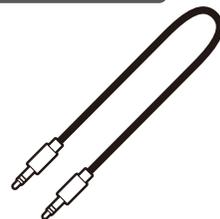
●本体右側面



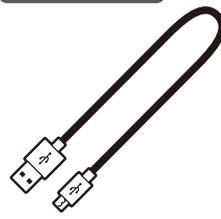
Bluetooth 送信機



オーディオケーブル φ 3.5mm



USB 充電 ケーブル



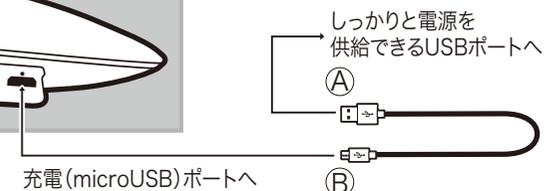
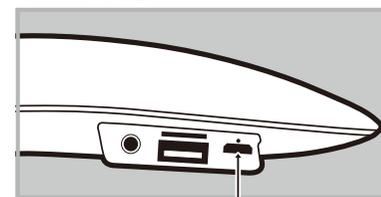
充電方法



- ・充電には付属のUSB充電ケーブル以外を使用しないでください。
- ・初めて本機を使用するときは、完全に充電をおこなってください。
- ・USBハブを使用して充電をおこなった場合は、正常に充電されないことがあります。必ずUSBアダプターやパソコン本体のUSBポートなど、しっかりと電源を供給できる環境で充電をおこなってください。

USB充電ケーブルの接続

●本体右側面



お手持ちのUSBアダプターやパソコン本機のUSBポートに付属のUSB充電ケーブル(A)を接続し、もう片方(B)を本機の充電(microUSB)ポートに差し込みます。充電ランプが赤く点灯し、充電が開始されます。充電が完了すると消灯します。



充電が完了するまで約2.5時間かかります。
上記の時間が経過したら、USB充電ケーブルを取り外してください。



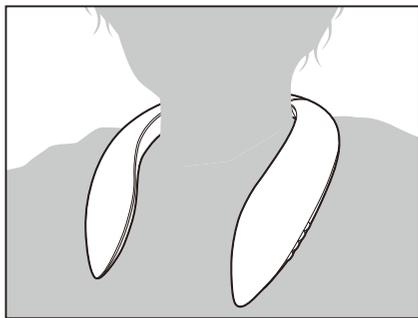
充電中の使用について

本機を充電しながら使用することはお控えください。電池の劣化を促進させたり、電池破損の原因になります。

使用方法① スピーカーの使用法

スピーカーの装着の仕方

背中側の首もと・肩・鎖骨のラインに沿うようにスピーカーを肩にかけます。
この時、左手側に操作するボタンがきます。



基本操作

- 電源ON 本体の電源をONにすると音声の流れ、電源ランプが青く点滅し始めます。
- 電源OFF 本体の電源をOFFにすると音声の流れ、電源ランプが消灯します。

各モードでの音楽再生

■Bluetoothモード

本機をBluetoothモードで使用するには、ご使用になる機器とペアリング(初期登録する作業)をおこなう必要があります。

(1)電源をON

電源を入れて、音声鳴った後スタンバイ状態になると「ペアリング」と音声流れ、ペアリングできる状態になります。(この時、電源ランプは早い青点滅状態になっています。)

(2)お手持ちの機器とペアリング

ペアリングしたい機器から本機を検索します。
検索方法はご使用の機器によって異なります。ご使用の機器の取扱説明書などをお読みください。

(3)デバイス名「A-S SP-16」を選択して登録

ペアリングしたい機器から本機が見つかったら、デバイス名「A-S SP-16」が検索画面上に表示されるので、選択して登録します。ペアリングが成功すると「コネクティッド」と音声流れ、これで登録は完了です。(この時、電源ランプが早い青点滅から青点灯に変わります。)

機器によってはペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。
お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をおこなってください。

1度ペアリングをすると、以降は自動的に接続されます。

※ご使用の機器や設定によっては自動的に接続されない場合もあります。

(4)音楽を再生

ペアリングした機器を操作、もしくは本体の[M/II]ボタンを押して、音楽を再生するとスピーカーから音が流れます。[V+/III]ボタンで曲送り、[V-/III]ボタンで頭出し/曲戻しができます。
※ペアリングする機器によって、曲送り(頭出し/曲戻し)できないものもあります。ご了承ください。
(音楽の再生中も、電源ランプは青点灯のままの状態です。)

各モードでの音楽再生(つづき)

■Bluetoothモード[3D]

通常のBluetoothモードの音がより広がり、さらに臨場感が増します。映画鑑賞やTVゲームをする際におすすめのモードです。
※元の音源によっては、効果が出にくいものもございます。

●Bluetoothモード[3D]への切り替え方

本機がBluetoothモードでつながっている状態で、[O]ボタンを押すと、「オープン3D」と音声流れ、3Dの音に切り替わります。もう一度[O]ボタンを押すと、「クローズ3D」と音声流れ、通常のBluetoothモードに切り替わります。

■オーディオモード

(1)オーディオケーブルを接続

本機の電源をONの状態、付属のオーディオケーブルを本機のオーディオポートに接続し、ケーブルの反対側をお手持ちの機器のオーディオポートに接続するとオーディオモードになります。

(2)接続した機器を再生して音楽を流す

オーディオモードの時は、本機の各ボタンで接続した機器の再生・曲送りなどの操作はできません。
[M/II]ボタンでスピーカーの消音の切り替え、[V+/III]・[V-/III]ボタンを長押しで音量調節ができます。
※接続している機器自体の音量調節は、その機器側で直接おこなってください。

■TF(microSD)カードモード

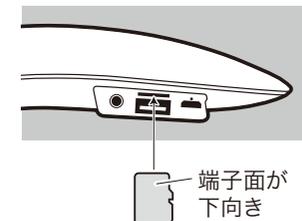
(1)microSDカードを挿入

本機の電源をONの状態、microSDカードをTF(microSD)カードポートに差し込みます。
microSDカードの向きに注意してください。端子面が下向きです。
【図1】

(2)音楽を流す

本機のボタンで操作をおこなってください。
※再生できるのはmp3形式の音楽データファイルです。
※本体の電池残量が少ない場合、読み込まないことがありますのでその際は充電してください。

【図1】本体右側面



■USBメモリーモード

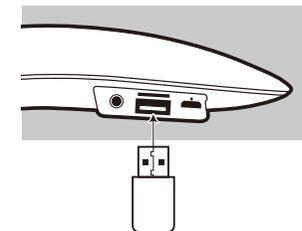
(1)USBメモリーを挿入

本機の電源をONの状態、USBメモリーをUSBメモリーポートに差し込みます。【図2】

(2)音楽を流す

本機のボタンで操作をおこなってください。
※再生できるのはmp3形式の音楽データファイルです。
※本体の電池残量が少ない場合、読み込まないことがありますのでその際は充電してください。

【図2】本体右側面



モード切り替え

microSDカード・USBメモリー挿入時、Bluetoothで接続した機器やオーディオケーブルで接続した機器と、複数の機器をご使用の場合、[M/II]ボタンを長押しすると再生する機器を切り替えられます。

●Bluetoothモード・TF(microSD)カードモード・USBメモリーモード・オーディオモードの4種から選択できます。
※microSDカードやUSBメモリー、オーディオケーブルが差し込まれていない場合は、それぞれ選択することはできません。

使用方法② Bluetooth送信機を使用する方法

スピーカー本体とBluetooth送信機のペアリングの仕方

Bluetooth送信機を使用してBluetooth非対応のテレビ等の音声を、スピーカー本体に飛ばすことができます。

(1)オーディオケーブルを接続

Bluetooth送信機のオーディオポートに付属のオーディオケーブルをしっかりと奥まで挿し込み、もう片側をテレビ等のヘッドホンジャックに挿し込みます。

(2)Bluetooth送信機の電源ON

Bluetooth送信機のキャップを外し、テレビ等のUSBポートに差し込んで電源を取ります。

❗ ※テレビ等の接続する側に電源を供給するUSBポートがない場合は、お手持ちのUSBアダプタを差し込んだ家庭用コンセントから電源を取ってください。

電源が入ると、電源ランプが赤く点滅し始めます。

(3)スピーカー本体とBluetooth送信機をペアリング

スピーカー本体の電源を入れて、Bluetooth送信機に近付けて、ペアリングさせます。

❗ ※この際、間に他のBluetooth機器があるとうまくペアリングしないのでご注意ください。

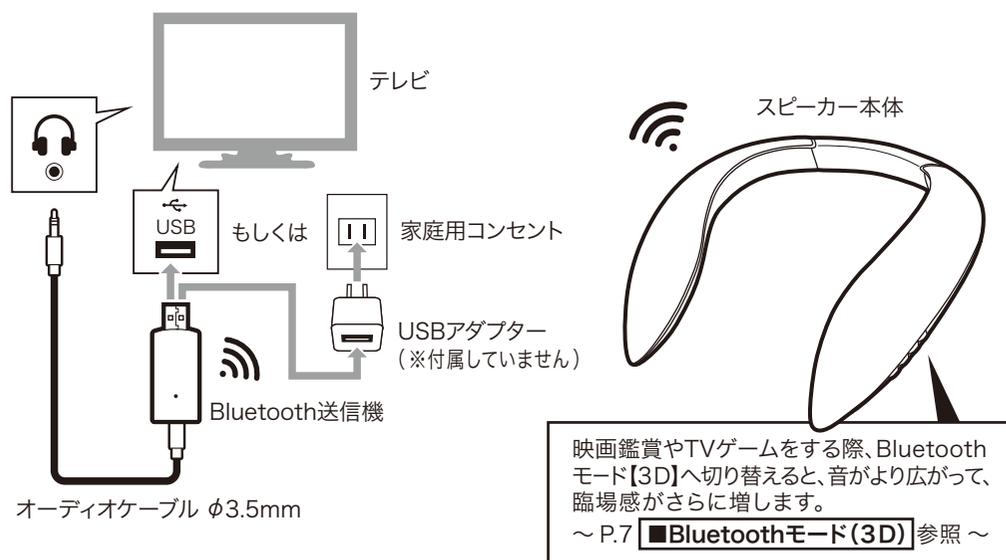
ペアリングするとスピーカー本体から「コネクティッド」と音声流れ、各電源ランプは以下のように変わります。

- ・ Bluetooth送信機 … 赤点滅→赤点灯
- ・ スピーカー本体 … 早い青点滅→青点灯

※ペアリングされるまでに20～30秒かかる場合があります。

(4)サウンドが流れる

スピーカー本体とBluetooth送信機のペアリングが完了すると接続した機器の音声流れ出します。



使用方法③ 音量・通話について

音量について

- 本機のスピーカーの音量が最大に達すると、知らせる音が鳴ってそれ以上音量は上がりません。音量が最小に達すると、知らせる音が鳴って消音になります。
- ※接続している機器自体の音量調節は、接続している機器側で直接おこなってください。

❗ ※最初から大きな音に設定しないでください。耳を痛める恐れがあります。

通話について

本機を使ってハンズフリーで通話をすることができます。

(あらかじめ本機とご使用の電話をペアリングしてください)

<着信の場合> 着信があった場合、着信音が流れます。本機の[M/MI]ボタンを押すと電話にでることができます。もう一度押すと通話を切ります。

<発信の場合> 本機の[M/MI]ボタンを2回連続して押すと、直前に発信または着信した相手に電話をかけることができます。

- 通話機能が使えるのはBluetooth接続時に限ります。
- 通話をする際、双方ともBluetooth機器で通話すると雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。
- ご使用の機器によっては、本機の操作での発信・着信した電話に出ることができない場合があります。その場合は、ペアリングした機器を操作してください。また、アプリを利用した通話はできない場合があります。

故障かな?と思ったら

●映像の音声が遅れて聞こえる

- ・Bluetoothの特性上、映像に対して音声が多少遅れて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

●本機の電源が入らない

- ・本機が充電されているかどうか、確認してください。

●ペアリングができない

- ・接続先のBluetooth機能がペアリング可能な状態であることを確認してください。一般にスマートフォンやパソコンなど接続する側の設定で、機能を有効にする必要があります。接続する機器の設定を確認してください。
- ・別の機器とペアリングされている可能性があります。接続を解除してからお試しください。

●他の機器との利用後、ペアリングが必要になった

- ・ご使用のスマートフォンやパソコン等とのペアリング後、他の機器と接続する場合に再度ペアリングが必要になることがあります。

●接続後に本機がきちんと動作しない

- ・本機および接続したスマートフォンやパソコン等の機器が、該当するBluetooth機能を搭載しているか確認してください。(Bluetoothのバージョンや対応しているプロファイルなど)

●電源を入れたのに自動的に再接続されない

- ・ご使用の機器によっては、ペアリングが完了後、「接続」が必要となる場合があります。詳しくはご使用の機器の取扱説明書をご参照ください。

●いつも再接続していたのに突然再接続されなくなった

- ・スマートフォンやパソコン等の接続する機器によっては繰り返し再接続している間に、登録情報が失われ、自動で再接続できなくなることがあります。本機および接続機器の電源を入れ直すか、再度ペアリングをおこなってください。

●ノイズやエコー音が入る

- ・ペアリングの機器との距離を変えてみてください。

●スマートフォン等で動画音声が聴こえない

- ・スマートフォン等の仕様により、ダウンロードしたプロモーションビデオなどの音声はBluetoothでは視聴できません。また、デジタル著作権保護のため、本機では再生できない場合があります。

●BluetoothキーボードやBluetoothマウスなど、他のBluetooth機器を使用すると本機からの音声が途切れる

- ・Bluetooth機器の混信、ノイズにより稀に音声が途切れる場合があります。

●連続再生時間が短くなった

- ・バッテリーは消耗品です。使用とともに徐々に劣化していきます。

テクニカルデータ

ウェアラブルスピーカー本体	Bluetooth	
	バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.5.0、class2
	検索デバイス名	A-S SP-16
	伝送距離	最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
	使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GHz~2.480GHz)
	対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
	スピーカー	
	型式	2chスピーカー デュアルパッシブラジエーター型
	スピーカー口径	φ30mm × 2
	再生周波数	80Hz~20,000Hz
	最大出力	3W × 2
	インピーダンス	4Ω
	その他	
	電源	DC 3.7V 内蔵リチウムイオン充電電池 1000mAh
充電時間	約2.5時間 ※充電機器により異なることがあります	
連続再生時間	約9時間 ※使用状況・環境条件により異なることがあります	
使用温度範囲	0~35℃	
対応フォーマット	mp3	
対応メディア	USBメモリー、microSDカード*、microSDHCカード(2~32GB)	
外形寸法	約 W250 × D250 × H55 mm	
質量	約 300 g	
Bluetooth送信機	Bluetooth	
	バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.4.2、class2
	伝送距離	最大約10m ※使用状況・環境条件により異なることがあります
	使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GHz~2.480GHz)
	対応プロファイル	A2DP
	同時接続台数	1台
	その他	
	電源	USB電源
	接続	3.5mmイヤホンジャック入力
	外形寸法	約 W23 × D12 × H61 mm
質量	約 18 g	

※通信距離は、間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって、通信距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

※全てのBluetooth機器との接続を保証するものではありません。ご使用の機器によっては接続できない場合があります。予めご了承ください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。



製品を廃棄するときはバッテリーのリサイクルにご協力ください。本製品の本体には『リチウムイオンバッテリー』が使用されています。資源を有効活用するため、廃棄するときは各地方自治体の廃棄物処理の指示に従って処理してください。